

受講者  
募集!

芥川賞作家・村田喜代子さんが語る

# <村田喜代子の文学いろいろ>

村田喜代子さんが、毎回一冊の本とその周辺を楽しく語る全7回の講座

事前に本を読んでいなくても楽しく聴ける!

事前の作品通読、書籍購入・持参は参加者の自由。こちらでの書籍の用意は行ないませんのでご注意ください。ただし、第2回、第4回は資料を配布します。

講座内容 時間はすべて13:30~15:00

2019/  
第1回 8/24 「長崎の鐘」 永井隆  
(土) (『長崎の鐘』 平和文庫)

「長崎の鐘」って藤山一郎の歌だって思ってる人いない?  
あの日、長崎医科大で爆した永井隆の手記。歌はその後に  
生まれた。比類ない描写力と学者の記録的価値が一つになっ  
た稀有なドキュメント。

第5回 12/7 「やんごとなき読者」  
(土) アラン・ベネット  
(『やんごとなき読者』 白水社)

英国のエリザベス女王は小説が嫌い! 読書嫌いの  
彼女が大変身。

第2回 9/21 「おーい でてこーい」 星新一  
(土) (『おーい でてこーい ショートショート傑作選』  
(講談社青い鳥文庫))

地球をどこまでも裏側まで掘っていったらどうなるか!  
殺人とセックスを書かなかったSF小説の巨星が描いた、あったか、  
おかしくて、鋭い、郷愁のショート・ショート。

2020/  
第6回 1/25 「黒地の絵」 松本清張  
(土) (『黒地の絵』 新潮文庫)

黒澤明も映画化したかったが叶わなかった戦後の  
北九州に起きた事件。時代の闇に今は秘される。

第3回 10/19 「セメント樽の中の手紙」  
(土) 葉山嘉樹  
(『教科書で読む名作  
セメント樽の中の手紙ほか』(ちくま文庫))

「私の恋人は立派なセメントになりました」。セメント樽から出てきた  
女文字の手紙。小林多喜二の「蟹工船」をしのぐ、原稿用紙だった  
8枚の短編に込められたメッセージ。

第7回 2/22 「チェルノブイリの祈り」  
(土) スペトラーナ・アレクシェービッチ  
(『チェルノブイリの祈り』 岩波現代文庫)

2015年ノーベル文学賞受賞作家が聞き取りした、  
魂ふるえるドキュメント文学。

第4回 11/23 「終末の日」 星新一  
(土) (『星新一ショートショートセレクション  
ボタン星からの贈り物』(理論社))

さあ大変! いよいよ世界最後の日が訪れた。星新一の短かい短かい  
終末の物語。



講師 村田喜代子さん

1945年、福岡県八幡市(現・北九州市八幡東区)生まれ。中間市在住。  
1987年、「鍋の中」で第97回芥川賞受賞。1990年、『白い山』で第29回女流文学賞受賞、1998年、『龍秘  
御天歌』で第49回芸術選奨文部科学大臣賞受賞、2013年、『ゆうじょう』で第65回読売文学賞受賞。著  
書は、『蕨野行』『蟹女』『この世ランドの眺め』『光線』『八幡炎炎記』『火環 八幡炎炎記 完結編』『エリザベ  
スの友達』『飛族』など多数。日本芸術院会員。

主催 北九州市立文学館  
開催場所 北九州市立子ども図書館 大研修室 (市立文学館隣接)  
北九州市小倉北区城内4番1号

定員 先着50名  
受講料 3,500円(全7回) ※選択受講の場合、1回1,000円  
申込 電話申込 ☎ 093-571-1505 ※7/18から受付開始



印刷番号00000